

内部フリクションとの戦い/伝達効率のあくなき向上

# 進化を続けるCVT - 最新動向と燃費向上技術の最先端 -

日時

2018年 6月15日 (金)

10:30 ~ 16:30

税込受講料

1名 48,600円

2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分  
 JR中央線(緩行線)  
 地下鉄東西線(A5出口)  
 地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)  
 都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

講座の概要 POINT

従来の遊星歯車を使ったAT(ステップAT)から、CVT(Continuously Variable Transmission)に置き換わることにより燃費が大幅に向上した。さらなる燃費向上として、ロックアップ領域の拡大(低速化)、内部フリクションの低減などが検討され、さらに副変速器も追加された。一方、ステップATにおいては、燃費向上として、4速から6速、8速と多段化が進んでいる。

POINT

1. ステップATとの比較においてCVTの基本構造と省燃費技術を理解する。
2. 内部フリクション低減などトライボロジーの観点から理解する。

講師

落合成行氏 東海大学工学部 機械工学科 教授  
 (元)自動車技術会 CVT・ハイブリッド部門委員会委員長  
 柴山尚士氏 新日本特機株式会社  
 (元)日産自動車パワートレイン開発本部、(元)JATCO開発部

プログラム

- ・ CVTの分類と各方式別の作動原理
- ・ CVTのメリット 有段STEP変速機との比較
- ・ CVTの最新動向 副変速機付きCVTの動向
- ・ CVTの燃費向上技術の最先端
- 1) バリエーター効率向上、ベルトの革新、チェーンの活用、プーリーの改良
- 2) オイルポンプの効率化
- 3) トルクコンバーターロックアップの改良
- 4) BRGフリクションの低減
- 5) 摩擦材ひきずり損失の低減
- 6) CVTフルード攪拌抵抗の低減
- 7) その他各部フリクションの低減
- ・ CVTの今後
- 電動化&自動運転時代のFR車用CVTの本命
- トヨタCVTの作動原理と活用ポテンシャル
- ・ まとめ
- 世界の自動車市場におけるCVTの位置づけ、市場別トランスミッション動向
- 質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ  
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675  
 E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 進化を続けるCVT - 最新動向と燃費向上技術の最先端 -

セミナーコード

1101-180615

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/6/15 ISS

社名	所在地	〒	電話	( )
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				( )
			FAX	-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト( ) その他				